＊キリスト教思想　**基本文献表**（キリスト教学を学ぶ人のために）＊＊＊

Ａ．総論・全般

1．教科書

武藤一雄・平石善司編　『キリスト教を学ぶ人のために』（世界思想社）

石田慶和・薗田坦　編　『宗教学を学ぶ人のために』（世界思想社）

芦名定道　『宗教学のエッセンス』（北樹出版）

芦名定道・土井健司・辻学　『現代を生きるキリスト教』（教文館）

芦名定道・小原克博　『キリスト教と現代　終末思想の歴史的展開』（世界思想社）

2．キリスト教史・キリスト教思想史（通史）

ティリッヒ『キリスト教思想史Ｉ　古代から宗教改革まで』

（白水社・ティリッヒ著作集別巻二）

『キリスト教思想史II　宗教改革から現代まで』

（白水社・ティリッヒ著作集別巻三）

金子晴勇　『キリスト教思想史入門』（日本基督教団出版局）

上智大学中世思想研究所編訳／監修

『キリスト教史　全１１巻』（平凡社ライブラリー）

3．事典・辞典

岩波書店　『岩波　キリスト教辞典』

Ｂ．聖書・聖書学

1．関根正雄　『古代イスラエルの思想家』（講談社・人類の知的遺産）

2．並木浩一　『旧約聖書における文化と人間』（教文館）

3．関根清三　『旧約聖書の思想　２４の断章』（岩波書店）

4．荒井　献　『イエスとその時代』（岩波新書）

『イエス・キリスト』（講談社・人類の知的遺産）

5．青野太潮　『どう読むか　聖書』（朝日選書）

6．エレミアス『新約聖書の中心的使信』（新教出版社）

7．M.J.ボーグ『イエス・ルネサンス』（教文館）

8．その他：聖書学から聖書神学まで、全般的な諸問題を扱っている「講座」として

『聖書講座　第一～四巻』（日本基督教団出版局）

『現代聖書講座　第1，2，3巻』（日本基督教団出版局）

『総説　旧約聖書』（日本基督教団出版局）

『総説　新約聖書』（日本基督教団出版局）

Ｃ．キリスト教思想（古代・中世）

1．小高　毅　『古代キリスト教思想家の世界　教父学序説』（創文社）

2．アウグスティヌス　『告白』

（岩波文庫・上下／中央公論・世界の名著『アウグスティヌス』）

『神の国　一～五』（岩波文庫）

3．宮谷宣史　『アウグスティヌス』(講談社･人類の知的遺産)
4．山田　晶　『アウグスティヌス講話』(新地書房)
5．ジルソン　『中世哲学の精神　上下』(筑摩叢書)
6．アンセルムス　『プロスロギオン』(岩波文庫)
7．稲垣良典　『トマス･アクィナス』(講談社･人類の知的遺産)
8．山田　晶　『トマス･アクィナス』(中央公論･世界の名著)
9．エックハルト　『エックハルト説教集』(岩波文庫)
『神の慰めの書』(講談社学術文庫)
10．上田閑照　『マイスター･エックハルト』(講談社･人類の知的遺産)
11．トマス･アケンピス　『キリストにならいて』(岩波文庫)
12．クザーヌス　『神を観ることについて』(岩波文庫)
13．堀米庸三　『正統と異端』(中公新書)
14．今野國雄　『修道院』(岩波新書)
15．その他　『キリスト教教父著作集　全22巻』(教文館･未完結)

Ｄ．キリスト教思想(宗教改革期･近代初頭)

1．ルター　『キリスト者の自由』(岩波文庫)
2．今井晋　『ルター』(講談社･人類の知的遺産)
3．金子晴勇『宗教改革の精神』(中公新書)
『ルターの宗教思想』(日本基督教団出版局)
4．ヒュー･カー編　『カンヴィン　キリスト教要綱抄』(新教出版社)
5．久米あつみ『カルヴァン』(講談社･人類の知的遺産)
6．イグナチオ･デ･ロヨラ　『霊操』(岩波文庫)
7．シレジウス　『ジレジウス瞑想詩集　上下』(岩波文庫)
8．トレルチ　『ルネサンスと宗教改革』(岩波文庫)
9．その他　『宗教改革著作集　全15巻』(教文館･未完結)
『キリスト教神秘主義著作集　全17巻』(教文館･未完結)

Ｅ．キリスト教思想(近代)

1．大木英夫　『ピューリタン』(中公新書)
2．A.D.リンゼイ　『民主主義の本質』(未来社)
3．パスカル　『パンセ』(角川文庫)
4．伊藤勝彦　『パスカル』(講談社･人類の知的遺産)
5．スピノザ　『神学･政治論　上下』(岩波文庫)
6．ヒューム　『自然宗教に関する対話』(法政大学出版局)
7．カント　『啓蒙とは何か』(岩波文庫)
8．シュライエルマッハー　『宗教論』(筑摩叢書)
9．シェリング　『人間的自由の本質』(岩波文庫)
10．フォイエルバッハ　『キリスト教の本質　上下』(岩波文庫)
11．キェルケゴール　『死に至る病』(岩波文庫)

12. 小川圭治　『キルケゴール』(講談社･人類の知的遺産)
13. ハルナック　『基督教の本質』(岩波文庫)
14. その他　『現代キリスト教叢書』(白水社)

Ｆ．現代キリスト教思想(主に20世紀以降)

1. マックス･ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(岩波文庫)
2. H･ツァールント　『20世紀のプロテスタント神学　上下』(新教出版社)
3. バルト　『キリスト教倫理　Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』(新教出版社)
4. 大木英夫　『バルト』(講談社･人類の知的遺産)
5. ティリッヒ　『信仰の動態と本質』(新教出版社)
   『生きる勇気』(平凡社ライブラリー)
   『宗教の未来』(聖学院大学出版会)
6. ブルトマン　『神学論文集　Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』(新教出版社･ブルトマン著作集)
7. ボンヘッファー　『共に生きる生活』(新教出版社)
8. モルトマン　『二十世紀神学の展望』(新教出版社)
9. パネンベルク『組織神学入門』(日本基督教団出版局)
10. グティエレス『解放の神学』(岩波書店)
11. M.L.キング　『自由への大いなる歩み』(岩波新書)
12. J.H.コーン『抑圧された者の神』(新教出版社)
13. R=R･リューサー　『性差別と神の語りかけ』(新教出版社)
14. ジョン･ヒック　『宗教の哲学』(勁草書房)
15. 鵜沼裕子　『史料による日本キリスト教史』(聖学院大学出版会)
16. 内村鑑三　『後世への最大遺物、デンマルク国の話』(岩波文庫)
17. 波多野精一『時と永遠』(岩波書店･波多野精一全集)
18. その他　『総説　現代神学』(日本基督教団出版局)